

# 平成18年2月期 レーダー級海上特殊無線技士 試験問題

法規 12問 } 24問 1時間  
無線工学 12問 }

## 法 規

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入(マーク)してください。

[1] 次の記述は、電波法に規定する「無線局」の定義であるが、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「無線局とは、無線設備及び  の総体をいう。ただし、受信のみを目的とするものを含まない。」

1. 無線設備の操作を行う者
2. 無線局を運用する者
3. 無線通信を行う者
4. 無線設備の所有者

[2] 再免許を受けた無線航行移動局の免許の有効期間は、次のどれか。

1. 無期限
2. 2年
3. 3年
4. 5年

[3] 船舶に設置する無線航行のためのレーダー(総務大臣が告示するものを除く。)は、電源電圧が定格電圧の(±)何パーセント以内において変動した場合においても安定に動作するものでなければならぬか、無線設備規則に定める値を次のうちから選べ。

1. 2パーセント以内
2. 5パーセント以内
3. 10パーセント以内
4. 20パーセント以内

[4] 無線従事者の免許証を返納しなければならないのは、どの場合か。

1. 5年以上無線設備の操作を行わなかったとき。
2. 無線通信の業務に従事することを停止されたとき。
3. 無線従事者の免許の取消しを受けたとき。
4. 無線従事者の免許を受けてから5年を経過したとき。

[5] 無線従事者は、無線通信の業務に従事しているときは、免許証をどのようにしていなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 携帯する。
2. 通信室内に保管する。
3. 無線局に備え付ける。
4. 通信室内の見やすい箇所に掲げる。

[6] 次の記述は、レーダー級海上特殊無線技士の無線設備の操作に関する電波法施行令の規定であるが、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「海岸局、船舶局及び船舶のための無線航行局のレーダーの外部の転換装置で  に影響を及ぼさないものの技術操作」

1. 機能
2. 電波の質
3. 機器の性能
4. 空中線電力

## 法 規

〔7〕 次の記述は、秘密の保護に関する電波法の規定であるが、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「何人も法律に別段の定めがある場合を除くほか、特定の相手方に対して行われる無線通信を  してその存在若しくは内容を漏らし、又はこれを窃用してはならない。」

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 聴守 | 2. 再送 |
| 3. 傍受 | 4. 盗聴 |

〔8〕 無線局の免許人又は登録人は、無線従事者を選任又は解任したときは、電波法の規定により、どの手続をとらなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 1箇月以内にその旨を届け出る。
2. 2週間以内にその旨を報告する。
3. 速やかに総務大臣の承認を受ける。
4. 遅滞なくその旨を届け出る。

〔9〕 無線局を運用する場合において、電波の型式及び周波数は、次のどれに記載されたところによらなければならないか。

1. 免許証
2. 免許状又は登録状
3. 無線局事項書
4. 無線局免許申請書

〔10〕 臨時検査（電波法第73条第4項の検査）が行われる場合は、次のどれか。

1. 無線従事者選解任届を提出したとき。
2. 無線設備の変更の工事を行ったとき。
3. 臨時に電波の発射の停止を命じられたとき。
4. 無線局の再免許が与えられたとき。

〔11〕 無線従事者の免許を取り消されることがある場合は、次のどれか。

1. 電波法に違反したとき。
2. 免許証を失ったとき。
3. 日本の国籍を有しない者となったとき。
4. 引き続き6箇月以上無線設備の操作を行わなかったとき。

〔12〕 電波法の規定により、免許状を1箇月以内に返納しなければならない場合は、次のどれか。

1. 無線局の運用の停止を命じられたとき。
2. 免許がその効力を失ったとき。
3. 無線局の運用を休止したとき。
4. 免許状を破損し又は汚したとき。